

リーフレット「選挙について考えてみよう」学習指導案（一例としてのご提案）

1. 本時のねらい

- ①投票する理由には様々な視点があることに気づくことができる。
- ②選挙後の取り組みについて、自分たちには何が出来るか考え、関心を持つことの大切さを理解することができる。

2. 本時の展開（1/1）

	学習過程	指導・援助
導入	<p>0. 事前の課題として投票者を決定しておく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人の主張を読んだ上で、リーフレットのQ1を記入する。 ・なんとなく選ぶのではなく理由をもって選ぶ。 <p>1. 課題設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">選挙について知ろう</div>	<p>○授業が始まる前までに、児童にリーフレットのQ1を記入させておき、授業は投票するところから始められるようにする。<模擬投票をしないで、Q1を記入、発表する授業の進め方もあります></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;">授業時間にゆとりを持たせ、内容を充実させるため、授業が始まる前までに児童にリーフレットのQ1を記入させておく方法を推奨します。「家族で話し合ってQ1を考える」などの条件をつけた宿題とすることで、「多様な考え方を得られる可能性が増える」、「政治について家族で話す土壌ができる」などの副次的な効果も期待できます。</p>
展開	<p>2. 投票をする</p> <p>3. 集計についても現実的な体験をさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表の児童が投票箱の中身がからの状態であることを確認させるなど、現実 に即した開票を実践する。 <p>4. 各候補者に投票した児童の理由をグループで話し合う→自分が投票しなかった残り3人の候補者について投票しなかった理由を発表し、グループで話し合う。(対立意見として取り上げることができる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各候補者に投票した児童の意図を聞いて共感したり、立場の違いによる意見の多様性に気づいたりする。 ・様々な視点で政策を見ることが出来る。 <p>5. 開票した結果を提示する</p> <p><金華さんが当選したと仮定する></p> <p>*他の人が当選した場合は、置き換える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの会話を理解する。 ・当選者が公約した政策が実行できているか、またその政策が順調であるかを考察する。 <p><想像してみよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支持していた人が当選したことによって政策に前向きに協力できる。 ・支持していない人が当選したが、思っていたよりも政策が良く実行されているのを見て、協力しようと思う。 ・落選した人に投票したため、素直に協力できない。 <p>6. 当選者が決まった後に何が大切かグループワークで考える</p> <p>「選挙後に大切なことは何ですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策に対して協力する。 ・反対意見の意思表示をする。 ・興味関心を持つ。 	<p>○実際に児童に投票させる。</p> <p>○実際の投票用紙と投票箱で、投票を体験できるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;">模擬投票用紙（本物と同じ素材）、投票箱（本物）は、選挙管理委員会から貸し出せます。</p> <p>○教師が開票する。</p> <p>○発表の視点として、立場の違いを認識した上で自分たちの意見の良い点・悪い点を改めて考えるようにする。</p> <p>○同じ意見でも、受け取り側である主権者の立場や何に魅力を感じるかは人それぞれであることや一つの意見だけで全員が納得することはできないことに気づかせる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;">30名程度の学級の場合、5分で開票作業は終了します。グループで話し合いをしていれば、先生が開票を行う時間を確保できると考えます。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;">岐阜市の開票所では、投票箱から投票用紙がすべて取り出されたことを立会人が確認し、開票されない票が発生しないようにされています。児童にも同様に確認してもらうことで、厳密に開票が行われている雰囲気伝えることができます。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;">実際の投票用紙は、「折り曲げても開く特殊な素材」で作られているため、開票を円滑に行えます。一般的な上質紙と本物の投票用紙で開票に要する時間を岐阜市選管事務局で簡単な実験を行い調べたところ、1票あたり0.5秒以上の差がありました。岐阜市の開票数を約30万票（令和元年参議院選挙の実績（選挙区&比例））と仮定すると、$30万票 \times 0.5秒 = 15万秒 = 2500分 = 41.6時間$ と膨大な時間短縮効果が確認できます。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;">【展開 学習過程6の話し合い活動が円滑に進めるために】 投票した候補者以外が当選した場合の心理に迫る発問(ex.「落選した候補者に投票した人は今、どんな気持ち？」)などと問いかけ、「結果が決まった以上、当選者を応援する」「当選した人を応援したくない」など、様々な考え方が共有し、肯定する。また、次回の選挙の投票先の選択に活かすことはできるが、今回の選挙の結果(当落)は変えられないことを伝える。 その上で、大切なのは「選挙の後に信長小学校がより良くなるかどうか」、「みんなの暮らしがよくなるかどうか」であることに気づかせる。</p> <p>○選挙から1か月後の様子を見て、選挙が終わった後には何ができるか、何をすることが大切であるかを考えさせる。</p> <p>○選挙では投票先を選ぶだけでなく、選挙後の取り組みに関心を持つことが大切であることに気づかせる。</p> <p>○「選挙→関心→参画→評価→選挙」というサイクルで社会がよくなることを導く。</p>
終末	<p>7.リーフレットのQ2 自分の考えを記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通して他者の意見を聞き、自分の意見を見直し再確認する。 *グループの代表者に話し合った意見を発表してもらう。 ・最後に、どう考えたかをリーフレットに記入する、または付け加えて自分の意見をまとめる。 	<p>○リーフレットのQ2が本時の課題に対するまとめとなっている。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; font-size: small;">実際の社会では、当選した政治家に直接的に働きかけることは、なかなかハードルが高いと思います。しかしながら、政策に賛成・反対の意見を持つ(可能であればSNSなどで発信)など、政治に対する関心を持ち続けることで、政治家の気を引き締め、よりよい社会を実現することができます。 一人ひとりが主権者として、社会や政治に対して、関心を持ち続け、できる範囲で関わっていくことが、最終的には、自らの暮らしの向上や幸せにつながっていくと思われま</p>

【評価規準】

(知識・技能)

- ・選挙の流れについて理解することができる。

(思考・判断・表現)

- ・数多くある情報を吟味して慎重に候補者を選ぶ必要があることを理解することができる。
 - ・選挙後にも関心を持ち続け、社会に参画することの重要性に気づく。また、選挙後に対して、自分なりの考え(行動指針)(※)を持つことができる。
- (※) 例えば、「どんな観点で当選者を見ていくか」、「自分がどんな関わり方をしていくか」など。

(学びに向かう力・人間性)

- ・選挙に対してどのように関わっていけばいいか、グループ活動を通して、主体的に考えることができる。

この指導案は「岐阜県若者の選挙意識を高める会（岐阜大学教育学部社会科教育講座の学生有志による団体）」と「岐阜市選挙管理委員会」が協働して作成したものです。